

全日本エコドライブチャンピオンシップ参戦について

OB会 現役交流担当 山下(H1)

私が今日のように現役自動車部員と関るようになったのは、平成23年に戸畑区内に引越して来てからのことでした。それまでも、ACK主催のラリーの準備等で、現役部員と活動を共にしてはいましたが、日々の部活動に関してはあまり関与していませんでした。

当時の自動車部は各学年ごとの部員は2,3名。毎年12~15名前後の部員数で推移していました。

なかなか部員が増えず、KIT Night Rallyの開催も危ぶまれるような状態でした。また、部員数の減少に伴って、責善会から配布される部活動費も徐々に減額され、部車の維持費にも苦労していました。そんな中、幹部部員たちと部活動活性化の取組みについて議論をしている際に、エコドライブチャンピオンシップ(EDC)の話が出て来ました。2014年(平成26年)のことでした。

当初、部員たちはそれ程乗る気ではありませんでした。彼らは、当然ですが、ジムカーナやダートトライアルといったドライブテクニックを試せる競技に参加したい意向が強かったのです。しかし、全日本学生選手権に出場するには参加車両の問題などハードルが高く、EDCも同じ全日本学生自動車連盟(学連)の主催する全日本学生選手権だからと納得させ、エントリーさせました。大学側に自動車部をアピールするには、学連の全国大会で成績を残すことが一番だからです。

2014年大会は、事前準備が殆んど間に合わず、(大会規則書さえ直前に入手するような)ぶっつけ本番の状態での参加でした。続く

2015年大会は、前年出場した部員が残っていたこともあり、前年度の情報の共有や事前準備も少しは出来ており、個人的にディーラーに事前試乗に行ったりして準備していたようです。そして昨年(2016年)大会。今回は、事前準備もしっかり出来ており、スポンサー依頼書を準備して大学周辺のディーラーに試乗に行き特性をチェックしたりしたようです。その結果、学生チャンピオンに輝くことが出来ました。

本年は惜しくも順位を落としてしまいましたが、先輩から後輩への情報の伝達や指導が上手く機能する限り、継続してTOP10内の成績を修めることは可能だと思います。また、本年4月にはEDC2016の業績を称え、入学式において学長表彰を授与されました。後日聞いたところでは、新入生や父兄の方にはとても良い印象を与えたようです。そのせいか、今年は8名もの新入部員を迎えることができ、部員総数も25名を数えるまで増えました。女子部員も入部し、AT免許取得者の増加や積載量制限の変更等の免許制度の変化もあり、今後の自動車部の活動は変わって行かざるを得ないと思います。また、長年に亘り、私たちを公私共にご指導いただいた徳尾三郎氏が一線を退かれた今、私たちOBが中心になって、現役部員たちの部活動を支援していかなければならないと考えます。

現役部員あつてのOB会です。OBの皆様の尚一層の現役へのご支援をお願いします。